

パレスチナ写真展

今年度は全国各地、
たくさんの場所で開催していただきました。



川崎

3月3日(日)

主催「平和と民主主義をともにつくる会・かながわ」(川崎市)、写真提供NPO法人アースキャラバンによる、パレスチナ・ガザ写真展が開催されました。



横浜

5月11日(土)~13日(月)

写真展『ガザに暮らす人々...沖縄・横浜』



喜多方

2024年7月4日(木)~8日(月)

「平和のための戦争展」喜多方実行委員会の方々によるパレスチナ写真展が開催されました。

五日間の入場者は、約800名。そのうちの380名が、小学校や高校生たちでした。



京都

バザールカフェ 2025/01/29(水)

1月22日~25日まで、京都御所のすぐ北にあるバザールカフェで、夏からの水支援を繋げてくださった植松さんたち主催で、パレスチナ・ガザ写真展が開催されました。

25日のイベントには、アースキャラバンのスタッフが呼ばれ、パレスチナ現地の話しや支援についてなど、お話会も開催していただきました。



山形

蔵戸(カフェ) 2025/02/27(木)

山形の蔵王の山々を仰ぐ温泉城下町武家屋敷通にあるマクロビオティックをベースとしたお膳やおやつを提供しているお店、「蔵戸」さんで、2月8日から約10日間ガザ写真展が開催されました。



来場者の感想

戦争下にあっても笑顔を見せる子どもたちが印象的でした。戦争のない安全で平和な世界の中で、当たり前のように笑ってほしいと願うばかりです。

写真を通じて伝わるメッセージの奥深さに、大変驚かされました。

ガザにいても、どこにいても、子どもの笑顔は宝物です。子どもたちの顔を曇らせてはいけません。

報道写真と違い人の喜びや悲しみが深くじんわり伝わるものでした。

世界中の命が失われることのない日が、一日でも早く作れるよう、行動していきたいと強く思いました。

子どもたちの表情が生き生きとしていて、泣けてきました。

ガザの地に暮らす人々の表情を、こんなに生き活きとらえた写真を今まで見たことがありません。

写真、全部いい。子どものひとみの輝きが素晴らしい。子どもって無限なんだと思いました。自分が、戦争中子どもだったから、大変さがよくわかります。

いつも子どもたちや、弱い人が犠牲になる。でも、そのひどい状況のなかに、人々の明るさ、たくましさも見えて、人間の持つ両面を感じました。

チャリティ施術会 @東京

毎月恒例となっている東京タオサンガセンターでのチャリティ施術。

施術料はドネーション。その全額が、世界の子供たちや災害支援に活用されています。

令和6年はチベット、パレスチナ、バングラデシュの子供たちの支援に加え、能登半島地震や台湾地震の復興支援にも届けました。

この活動を心待ちにしてくださる方が少しずつ増えており、施術を通じて多くの方々との温かな交流が生まれています。施術を担当しているのは、タオ指圧の門下生たち。丹精込めて行う施術は、身体だけでなく心にも癒しをもたらす、と好評です。

昨年一年間で、延べ110名の方々がこのチャリティ施術を受け、ドネーションの総額は285,951円に達しました。施術を受けてくださった皆さまのご協力に、心より感謝申し上げます。

※京都センターでも毎月15日に利他施術会を開催しています。(30分間 無料)



タオ指圧に興味を持った、アメリカの鍼灸学校の生徒さんが、施術を受けに来て下さいました。

